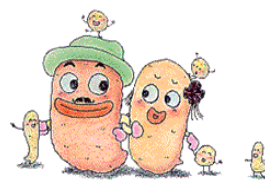


## 湯戸飛夜いけいけだよ



Jinen Joe family

## 記事:

- ・新しい年を迎えて
- ・第16回西徳山いけいけフェスタを開催!
- ・シリーズ「グループ紹介」“tengoo”
- ・「湯戸飛夜いけいけだよ」第20号発刊に想う
- ・シリーズ「地元の達人」“水車づくりの達人”河村賢助さん
- ・「第5回てくてくウォーク」報告
- ・「冬花壇を彩る」花いっぱい運動
- ・お知らせ

## 会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時会員を募集しています。

連絡先:

(0834)63-3770

(神本)まで

## 発行 西徳山まちづくりの会

## 新しい年を迎えて

西徳山まちづくりの会も今年で17年目を迎え、「湯戸飛夜いけいけだよ」も20号を発刊する運びとなりました。

昨年のいけいけフェスタでは、子供から大人まで、三地区を越えた地域の皆様が戸田駅前広場において楽しく交流することができ、テーマである若い人々の力がとても頼もしく、会員一同感謝の気持ちでいっぱいです。



これも地域の皆様のご協力のおかげだと思っています。西徳山地区が更に夢のある住みよいまちになりますように引き続き、ご協力をお願い致します。

今年は巳年です。巳は命そのもののシンボルとして、また稲作の守り神として信仰されています。

皆様にとって本年が心豊かな一年でありますよう願っています。

会長 酒井昭子

## 第16回西徳山いけいけフェスタを開催!



いけいけフェスタ スナップ写真

## シリーズ「グループ紹介」

# 湯野の「<sup>てんぐ</sup>tengoo」

周南の奥座敷といわれる素晴らしい温泉という観光資源のある湯野を活性させて西部地区を盛り上げよう！！と、2012年春に結成したチーム「tengoo」です。tengooとは湯野のテング伝説を元に名付けました。

まずは、市内外に皆様に広く湯野を知っていただく！湯野を癒しの地としてイメージアップをしよう！と企画したのが2012年7月に開催した「第1回ゆの浴衣まつり」でした。準備期間は短く、みんながイベント運営初心者！手探りながらも、毎日深夜まで竹燈籠を制作したり、ミーティングを繰り返したり、苦労はありましたが、こだわってみんなで作り上げたイベントは思惑通り、県内各地から若い人が集ってくださり、活気のあるイベントとして幕を閉じることができました。なによりも良かったことは、「ゆの浴衣まつり」をきっかけに地元の若いメンバーがたくさん集まったことでした。

当初10名でスタートした tengoo ですが、中心となって活動するメンバーが20人を超し、活気づいています。そして、すでに「第2回浴衣まつり」に向けワイワイ企画を練っています。みんなでさらに西部地区を盛り上げたいと思います！どうぞよろしくお願いいたします。  
西川 満希子さん 記



## 「湯戸飛夜いけいけだより」第20号発刊に想う



秋の農繁期が終わった10月下旬、私は自分の心に癒しを求めて、奈良の古寺を巡礼し、仏様に会いに行く。今年も10月28日に出かけた。もとより日帰りの勝手気ままな一人旅だ。朝、6時47分の新幹線に乗ると10時10分には薬師寺の門前に立っていた。近くには唐招提寺もある。小雨にもかかわらず、多くの参拝者で賑わってはいるが、仏様の前ということもあってか、どこことなく人々は落ち着いている。

まず、薬師寺東院堂の聖観世音菩薩立像に御出会いする。衣文の模様の美しい、理想の青年の顔の観音様。その後、金堂に行くと、ご本尊の薬師如来様が日光、月光両菩薩様と並んでおわしました。なんと美しく澄んだご尊顔をしておしゃべりしたのだろうか。半眼は私の心の中を全てみとおされている。思わず手を合わせて、無心になっている自分に気づく。総じて、仏様たちは非常に饒舌である。この声無きおしゃべりはどこから来るのだろうかと考えてみた。

白鳳、天平という遠い昔の少ない情報が、私たちの想像をたくましくしてくれる。人間は言葉や文字を持つ生物である。その少ない情報の中に、文字という形で残っているからであろう。

この私たちが取り組んでいる西徳山での活動も、やはり文字として残していけたらと思う。この便りを記録として、次の30号を目指す。

編集長 神本 記





シリーズ「地元の達人」

## “水車づくりの達人” 奥湯野水車の里 河村賢助さん

湯野温泉から県道27号線を防府市に向かって10分程度奥に入り、石砂谷の道沿いの左手に水車の里の幟り旗があります。恋塚滝にかかる水車の前に、「森の水車NHK山口放送記念」の立て札がたっています。小ぶりの水車が、山から流れ落ちる清水にくるくと回っています。

そこから、歩いて2分の左カーブの広場に、水車の里の看板があり、ここに車を停めてガードレール越しに右下を見ると、川沿いの広場に水車2基と稲わら小屋、脱穀する人形、自転車をごぐ人形があります。この広場の下にある家が、水車づくりの達人、河村賢助さんの生家です。

今は、夜市西ヶ浴に住んでおられますが、田を2反作っており、ほとんど毎日こちらに来ているとのこと。

急に寒くなった日で、生家の庭で焚き火に当たりながらお話を伺いました。冬は寒いところですが、夏には涼しくていいところですよと河村さんは話されます。

水車を作り出したきっかけは、5年程前、孫が3歳の頃ですが、回るものを作って欲しいとせがむものだから、最初は風車を作りましたが、昭和30年頃まで生家の庭に水車があったのを思い出して、水車を作ろうと思立ちました。水車をいざ作りはじめると、知人や隣人から、素人が水車を作っても動くものにはならないからやめておけと忠告を受けましたが、若い時分、水車の修理等は手伝っていましたので、仕組みは分かっていたし、水車の型も家に残っていたので、無事完成しました。山合からの僅かな水でもしっかり回っています。



水車の里の前に立つ河村賢助さん



初めてつくった水車

水車を動力にからくりを作っていますが、動力伝達がなかなか難しい。ワイヤーをベルトに使っていますが、雨ざらしのためよく切れます。今、動かないからくりもあるので、これから修理、整備をしていきます。子供等がきて、楽しんでくれたら嬉しいです。

3年前から、湯野ふるさと祭りの一会場として、“猪なべ”を提供しています。当日は地元からだけでなく、石砂谷の出身者や戸田、夜市の方たちが大勢集まり、楽しんでもらいました。今年は、8月14日に、だいがら踊り保存会の人たちに来てもらい、ここで盆踊りを催しました。太鼓もここにありますが。

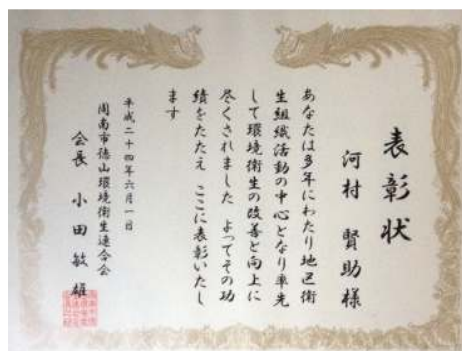
最近に作った水車は恋塚滝の水車で、NHK山口から水車を作る過程から撮影したいと依頼されて、撮影に来られた時にコツコツと作ったものです。軸には古い車力の車輪を使っていますが、

言われて見ないと分からないでしょ。

河村さんは、本年6月1日に水車の里づくりなど地域の環境保全に尽力されていると湯野地区自治会連合会から推薦され、周南市徳山環境衛生連合会会長から表彰されました。河村さんは「地域の環境保全は一人ではできません。地域の皆さんの協力や後押しでできた水車の里の代表としてもらえたものです。」とおっしゃっていました。

いつまでも若くやる気満々の河村さんは、西徳山いけいけフェスタの最初の頃の仲間です。まだ、夜までフェスタをやっていた時分のこと、片付けが遅くなって大変だったと懐かしい話に花を咲かせました。

(呑くん記)



徳山環境衛生連合会会長の表彰状

## 西徳山まちづくりの会

“第20号発刊を終えて”  
編集者は語る

### 石田真理子

心に愛があれば どんなに  
拙い言葉でも 相手の心  
に響くと信じています

### 野村才人

HPの文章を丸写しにした  
ら、書き直しを命ぜられま  
した。も一書けません

### 木曾裕子

ほかの編集者の皆さんの  
頑張りを見て、私自身元気  
になっています

### 村林伸二

フェスタが盛り上がり、今  
年もみんなと楽しめて幸せ  
です

### 松原邦夫

振り返ってみると楽しい編  
集活動でした。仲間の皆さ  
んに感謝！

### 津田京子

20号発刊に感激！皆さん  
のご協力に感謝します

### 井上秀行

みな集い せせらぎかおる  
道の駅

### 酒井昭子

このたよりに係わって たく  
さんのすばらしい人々に出  
逢いました

発行責任者

会 長 酒井昭子

広報部長 石田真理子

西徳山まちづくりの会

ホームページ URL:

www.nishi-

tokuyama.gn.to

# 『第5回てくてくウォーク』報告

## … 秋深まる昇仙峰登山 …



朝の寒さが嘘の様にポカポカ陽気の小春日和の一日、戸田の名峰？昇仙峰に挑戦しました。総勢13名で、夜市・戸田の田園を抜け、急坂の昇仙峰(261m)頂上に到着。

頂上の素晴らしい景色に心を打たれ、各々の思いを句に託しました。



本当に楽しい山旅でした。

次回は、1月20日(日)「**富海  
歴史探訪ウォーク**」です。一緒に  
楽しく歩きませんか？

**只今 参加者募集中！！**

連絡は國澤まで

0834-83-2762

分け入って 登る頂上 あけびの実  
紅葉山 頭上に近く 空の青  
海広し 気分そうかい 昇仙峰  
昇仙峰 登りて見ゆる 我が家かな  
てくてくウォーク  
昇仙峰は どんぐりの道  
昇仙峰 景色見飽きて 見るケイタイ  
昇仙峰 仙人登った 峰かしら  
晩秋や 枯葉舞う空 寒がらす  
杖つきて 登りし峰や 秋の風  
昇仙峰 登り広がる 瀬戸の海

頂上の思いを託した俳句

## 「冬花壇を 彩る」 花いっぱい運動

葉牡丹の名前の由来は 葉を牡  
丹の花にみたてたものです。金盞  
花は花が黄金色で、盞(さかずき)  
のような形をしているところからつ  
けられました。

冬の寒さに冴える白や赤・黄金  
色を、戸田駅入り口の交差点にア  
レンジしてみました。大輪の花が咲  
いたように 見えるといいな！

わたちゃん 記



## お知らせ

### 西徳山まちづくりの会の全体会

原則として毎月第1と第3火曜日の19:30から、夜市公民館で開催しま  
す。興味のある方は遠慮なくご参加ください。

### 「第6回てくてくウォーク」を開催します

1月20日(日)に戸田駅から富海駅までの旧山陽道を歩きます。戸田駅に  
9時50分集合。お弁当は用意します。参加費500円。飲み物は持参してくだ  
さい。どなたでも参加できます。